

(様式6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 19 年 10 月 2 日

【評価実施概要】

事業所番号	2871900177		
法人名	医療法人 光邦会		
事業所名	グループホーム 銀荘		
所在地	小野市葉多町257-1 (電話) 0794-62-7835		
評価機関名	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会		
所在地	神戸市中央区坂口通 2 - 1 - 1 8		
訪問調査日	平成19年7月10日	評価確定日	平成19年10月4日

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家から少し離れ、田圃に囲まれ道路より奥まったところにあるグループホームで、母体の老人保健施設に隣接している。ホームは1ユニット女性5名の利用者がそれぞれの役割をもって裁縫や文字書きを行い、家庭的な環境のもとで日常を送れることができるようサービスの提供に努めている。今後は近隣の市町やグループホームの事業者団体等と意見交換や研修を行なう等、交流をはかりよりサービスの向上につなげることが望まれる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 重要事項説明書を掲示したり、利用者のアセスメントや日々の状況の記録の徹底等を行った。その他の改善課題についてはまだ取り組み中である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 職員全員で自己評価に取り組み、まとめた。今後は運営者を含め全員話し合っって課題などを整理し、優先順位をつけて計画的に取り組むことが望まれる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 運営推進会議はまだ開催していない。家族や利用者、地域の方に働きかけ、運営推進会議を開催していくことが望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 月に1回、直接利用料金の支払を受けるので、その時に家族と話しをしている。玄関に苦情を書き込むノートを設置しているが、現在のところは家族の意見や苦情の記載はない。第三者や行政を通じて苦情を言えることができる窓口を重要事項説明書等に記載して説明し、苦情に対してのフィールドバックを行ったり、家族に月に1回程度は便り等で利用者の現況を伝え、家族の意見等を得やすい体制作りが望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 併設の老人保健施設と合同で夏祭りを開催し、地域住民を招いているが、その他の交流は行なっていない。地域で行なわれる夏祭り、秋祭り、イベント等に参加して、ホームの理解や認知等を広げることを含めて地域と交流し、自治会等への参加を含め、利用者やホームが地域の一員として参加していくことが望まれる。

【情報提供票より】(平成 19年 6月 9日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12年 7月 10 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	5 人
職員数	6 人	常勤	5人、非常勤 1人、常勤換算 5.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)		有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1ヶ月当たり 30,000 円			

(4) 利用者の概要(6月9日現在)

利用者人数	5 名	男性	0 名	女性	5 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名		
要介護3	0 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	83 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	依藤診療所、よこた歯科
---------	-------------

2. 第三者評価報告書

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念や方針はあるが、介護保険制度の改正により地域密着型サービスの役割を書面として表したものは無い。		地域密着型サービスとして展開していくうえで、思いを文章に表現し、残していくことが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の職員会議等で共有を行えるよう取り組んでいるが、管理者と職員間で、地域密着型サービスとしての役割を踏まえた共有にはいたっていない。		思いは共有されているが、文章化し管理者と職員で話し合い浸透させることが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設の老人保健施設と合同で夏祭りを開催し、地域住民を招いているが、その他の交流は行なっていない。		地域で行なわれる夏祭り、秋祭り、イベント等に参加して、ホームの理解や認知等を広げることを含めて地域住民と交流し、自治会等への参加を含め、利用者やホームが地域の一員として参加していくことが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価より、具体的な取り組みとして重要事項説明の掲示、アセスメントや利用者の日々の行動や状況などを記録し改善に取り組んでいる。今回の自己評価については職員全員で取り組んだが、管理者・運営者と話し合うなど、組織的・計画的な取り組みにはいたっていない。		評価で得た課題を運営者や職員同士で話し合っ整理し、優先順位をつけて改善計画をたてるなど計画的に取り組むことが望まれる。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	運営推進会議はまだ開催できていない。		家族や利用者、地域の方に働きかけ、運営推進会議を開催していくことが望まれる。
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	運営推進会議など市に働きかけてはいるが、市の理解や関心が薄く、ともにサービスの質の向上に取り組めている状況ではない。		グループホームとして、理解や支援、情報収集のために取り組みの内容を積極的に伝えていく等、積極的に独自の市への働きかけが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月に1回、直接利用料金の支払を受けるので、その時に利用者の状況や行事内容等や写真を手渡して報告している。		月に1回程度は便り等を発行し、家族が利用者の状況を理解しやすくしたり、ホームへの理解や関心を得られるよう働きかけが望まれる。
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	玄関に苦情を書き込むノートを設置しているが、現在のところは家族の意見や苦情の記載はない。その他苦情や意見を聞く窓口の明示など体系的に意見等を聞くしくみはない。		外部(行政等)へも苦情を言える体制作りと、契約書・重要事項説明書に苦情窓口を表記するなど、いつでも言いやすいしくみ作りが望まれる。また、家族会やアンケート実施等で調査を行い、反映させる取り組みが望まれる。
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員が固定され異動はほとんど無いので、この点での利用者に対する影響はないようにしている。		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>以前は外部研修の受講を行っていたが、現状では職員配置にもあまり余裕は無く、法人内外の研修等への計画的な参加、出席への働きかけ等はない。</p>		<p>個々の職員について、経験段階や能力に応じた研修の計画的な受講が求められる。年間計画を作成し職員が受講しやすい体制を整える取り組みが望まれる。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者との係わりや交流はない。</p>		<p>近隣市町の同業者との係りを持ち、情報交換等の交流が望まれる。</p>
<p>・安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居が決まれば、入居前に家族と面談して相談しているが、環境等が変わるなど入居に際して利用者が受けるダメージをやわらげる取り組みはなされていない。</p>		<p>入居前には日中に来てホームで過ごし、雰囲気慣れてもらうなどの取り組みが望まれる。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と共に食事をしたり、裁縫や文字書き等楽しい雰囲気を作るように努めている。裁縫などは利用者に教えてもらいながら行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からの要望は特に出されないが、利用者のこれまでの生活歴を基に、個々の利用者との関わりの中で声かけ等により、意向の把握に努め、職員間で話し合っている。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の状況に応じた介護計画を作成しているが、家族からの意見を積極的に聞くようにはなっていない。</p>		<p>家族には、自立支援に向けてケアスタッフが留意すべきことを積極的・具体的に聞く等、家族が参画しやすく、ケアプランに反映できる仕組み作りが望まれる。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>最初の計画を立ててからは3ヵ月で見直し、その後は半年、年に1度介護計画を見直しているが、点検の意味での月に1回程度の見直しや、利用者の状態変化に応じた見直しにはいたっていない。</p>		<p>介護計画の見直しは、家族に意見を聞きながら、利用者の状態に変化が見られない場合でも月に1回程度実情に即した、あるいは予防的に対応していくための介護計画の見直しが望まれる。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>現状では、これまでの利用者の生活の延長上における特別な外出の支援や、外泊等の支援は行なわれていない。</p>		<p>個々の利用者の思いや意向に応じた支援が望まれる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関がかかりつけ医になり、月に1回は往診にきている。入居前からのかかりつけ医が他であればそこへの通院も家族の付き添いで行なっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ホームで終末期までケアする方針はある。過去に終末期まで看取った利用者があり、対応は事業所全体で方針を定め、職員間で共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>言葉掛けの対応は丁寧であり、業務日誌などについては事務所の1カ所に保管している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者からはホームでの過ごし方に強い意思表示があまりなく、利用者の様子を見ながら支援している。裁縫などやりたいことがあれば準備してやってもらうようにしている。</p>		<p>利用者の意向や希望をより積極的に引き出すよう取り組み、また、可能な限り意向に沿える体制を検討することが期待される。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは嗜好調査を行い、それを反映して職員が作っている。食事はホームで調理し、準備や片づけは利用者と一緒にこなすようにはしているが、職員が中心になっている。職員は利用者と共に楽しい雰囲気の会話を心がけて食事している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間は毎日設け、少なくとも2・3日に1回は入浴するよう支援している。車イス利用の方は併設施設でシャワーを利用している。		入浴時間の設定について、利用者の好みや意向を聞きだし、希望に応じた支援ができるよう配慮が望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	裁縫や塗り絵、文字書き等を行なっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	併設の老人保健施設のガーデンテラス等へいくことはあるが、日中職員が1人になることもあり、日常的に外出することは少ない。		買い物等を利用者と共にし、積極的な外出支援ができる体制の検討が期待される。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は鍵をかけずに、自由に出入りできるようにしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	避難訓練を年2回消防署に立ち会ってもらって行なっている。職員間の非常時の連絡体制表もある。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	食事量や水分摂取量は、毎日記録し管理している。		定期的に食事の記録を併設施設の栄養士等の点検してもらい、栄養バランス等のアドバイスを受けるなどの取り組みも望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	窓から自然光をとり入れ、常に音楽を流し、部屋の雰囲気明るくするようにしている。しかし共用部分が狭く、食卓が中心となっており、季節を感じられるものもほとんどない状況である。		2階の空き空間にソファを置くなど、居住空間としての整備について検討することが望まれる。
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	食器などを含め、家族には使い慣れたものの持込を依頼しているが、全体的に持込みは少ない。		家族に対して、利用者が使い慣れたものを持ち込む意義を再度説明し、持ってきてもらえるよう働きかけたり、好みのものを一緒にそろえる等の取り組みが期待される。

 は、重点項目。